

快適なマイホームづくりは 身の丈に合った家を建てることです

インタビュー
2013.3.3

室内写真はお引渡し前のものです



落ち着いた和風モダンのイメージに仕上げられたY様邸



リビングでくつろげるY様ご一家



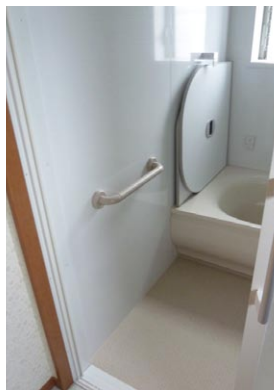
2階の娘さんの部屋。テーブルはパソコン用にスライド式になっています



ちょっと横になりたい時など便利なリビングに併設した1階和室



持ち込む家具のサイズに合わせてつくられた2階の納戸



左から浴室、トイレ、玄関と、お年寄りが利用しやすいように手すりが取り付けられました。床もちろんバリアフリーです



空調効果が向上するように、階段にはスライド式ドアが取り付けられています

家具のサイズに合わせて 設計プランを作成

Y様ご夫婦の場合、これまで賃貸住宅にお住まいで、やはり別の賃貸住宅におられた娘さんと三人が一緒に住める家をご希望でした。家具や荷物の量も多く、それが新居に納まるのが家づくりの第一条件でした。

「設計プランを描く前に、担当の方にタンスなどの大きな家具のサイズを測ってもらい、それに合わせて設計していただいたのです」とY様。そのため、新居に移ってもすべて予定通りピタリ納まったそうです。間取りや設備については娘さんが中心になって進められましたが、親と同居するための気配りが随所にされています。

「両親はこれから歳をとっていきます。ですから、手すりを増やしたり、バリアフリーを徹底してもらいました。それに年寄りには洋式の生活の方が、体に負担がかかりませんか、できる限り洋風にしました」と。

チラシを見て 大井建設のファンに

この家に移られて2ヶ月ほどですが、住み心地をお聞きすると、「リビングにいれば冬でも屋間なら薄着でいられます。日当たりと断熱性がいいからでしょう。暖房もエアコンだけで十分です」とY様。奥

様もうなずいておられます。ご夫婦ともにこの家に移られてから、活発になられたそうです。

満足できる家づくりの方法をお聞きすると、「家は広くしたり、豪華にするときりがありません。それよりも、自分たちの身の丈に合った家が一番快適なんだろうと思います。その点、この家は私たちにピッタリで、生活に張り合いができたというか、暮らしに前向きになれる家です」と娘さん。

Y様も「以前、私が見た大井さんのチラシがとても気に入って、家を建てる時はここへ頼もうと、チラシを大切に保管していました。その予感に間違いはありませんでした」と満足そう。

家族の絆を 強くしてくれる家

これからどんな暮らしをしたいですか、という質問には「安心して暮らせる家もできたので、出来るだけ長生きしたいですね」と笑って話されるY様。

娘さんも「ここで暮らすようになって、家族が一緒に過ごす時もプライベートの時もそれぞれ充実して、時間や空間の使い分けがスムーズに効率的にできるようになりました。キッチンも新しくなりました。料理にも挑戦したいし、ガーデニングなどもやりたいですね」と。家ができて、「家族の絆はさらに強いものになったようです。」